

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	75	学校名	浜松江之島高校	校長名	磯部 正之
------	----	-----	---------	-----	-------

1 スクール・ミッション

県西部地区の普通科・芸術科併置校の特色を生かし、多様な生徒の多様な進路希望を全力で応援する地域密着型の学校として、「わかる」授業の実践と地域社会との接点を重視した探究学習を通して、知性と規律性、主体性を身に付け、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す。

(探究とは、物事の意義や本質を見極めたり理解を深めたりすること)

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

	グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
普通科	<p>己の目標に向かって、信念をもって課題に挑む生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に課題を発見し、諦めずに解決の道を探し続ける生徒を育成する ・感情や周囲に流されない信念を持ち、協調性と情報分析力で状況を把握し、地域社会に働きかけることができる生徒を育成する 	<p>「わかる」授業の実践と地域社会との接点を提案する学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学習環境を提供することで、共感できる社会人になるための学力を保障する ・探究的な学習の時間を中心に、教科横断的なカリキュラムを実現することで、地域社会との接点を模索する ・多様な学習様態に対応することで、「わかる」喜びを味わい、自己肯定感を高める 	<p>多様性を受け止め、己の目標に向かって課題解決に挑む生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な価値観や考え方、言語、文化等を包含した環境下で、知性（基礎学力）と創造力（想像力）を発揮し、目標を設定しようと努力する ・知性（社会性）と創造力（キャリア開発力）を発揮し、進路選択を含めた自己実現に向かうことができる
芸術科	<p>己の目標に向かって、信念をもって課題に挑む生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感性と創造性で自ら目標を設定し、諦めず努力する生徒を育成する ・感情や周囲に流されない信念を持ち、協調性と情報分析力で状況を把握し、地域社会に働きかけることができる生徒を育成する 	<p>「なりたい自分」への成長を全力で支援する学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学習環境を提供することで、自分の表現や意見を発信できる社会人になるための学力を保障する ・探究的な学習の時間を中心に、幅広い芸術活動が体験できるカリキュラムを実現することで、地域社会と芸術との接点や、自分と芸術との関わりを探求する ・様々な芸術表現活動を通して、生涯にわたって芸術を愛好する心情を育む 	<p>多様性を共有し、知性と創造力を抱いて課題解決に挑む生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な価値観や考え方、言語、文化等を包含した環境下で、知性（感性）と創造力（想像力）を発揮し、目標を設定することができる ・多様な進路選択から、知性（社会性）と創造力（表現力）を発揮し、自己実現に向かうことができる

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 安心・安全な学校づくりによる健全な生徒の育成
- イ 知性を身に付け生きる力を育む授業の実践
(知性とは明白な答えがない問いや課題について考え、理解し、判断する能力のこと)
- ウ 多様な生徒の自己実現に向けたキャリア教育や探究活動の推進
- エ 主体性・規律性を身に付け自己指導能力の獲得を目指す生徒指導の推進
- オ 多様性への理解を深め地域社会に貢献できる生徒の育成
- カ 業務改善と不祥事根絶への確実な取組の実施

様式第1号

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載。太字（下線部）は新規）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標（◎100% ○85% △70%）	担当部署
ア	(7) 事件や問題行動、トラブルを未然に防ぐ安心な学校づくり	挨拶の徹底、礼法指導の実施 教員からの声掛け、コミュニケーションによる生徒が相談しやすい環境作り 特別な配慮を必要とする生徒への指導の研修と実践 多様性を尊重する人権教育の推進 情報モラル教育推進	○挨拶や礼法が実践できている生徒 ◎挨拶や礼法が重要だと生徒に理解させる指導をした教員 ○相談できる先生がいる生徒 ◎生徒が相談しやすい環境作りをした教員 ○学校生活に満足している生徒 ○相手を思いやる言動ができている生徒 ◎SNSに不適切な書き込みをしない生徒 ◎SNSの適切な使用を指導した教員	教務研修課 生徒保健課 進路図書課 各学年
	(イ) 事故や病気、怪我を未然に防ぐ安全な学校づくり	交通安全指導の実施 体調管理の徹底 防災・減災教育の実施による防災意識の向上	◎自転車による加害事故がなかった生徒 ◎自動車等による加害事故や交通違反がなかった教職員 ◎朝食を毎日摂るように心がけている生徒 ◎自らの命を守る行動を意識して防災訓練に参加している生徒 ○地域防災訓練に参加した生徒	生徒保健課 総務情報課 各学年 管理職
	(ウ) 環境整備等による安心・安全な学校づくり	清掃指導の徹底とごみの削減 施設設備の危険箇所や破損等の早期把握、迅速な対応 多くの生徒が利用しやすい図書館や進路学習室の整備	◎ごみの持ち帰りを行った生徒・教職員 ○整理整頓を心掛けている生徒・教職員 ○学習環境が整っていると感じた生徒 ◎定期的な安全点検を実施した教職員 △図書館を利用した生徒 △進路学習室での勉強に満足している生徒	生徒保健課 進路図書課 総務情報課 事務部
イ	(7) 知性を育む基礎学力の定着	小テストや定期テストの工夫による基礎学力の定着 スタディサプリを活用した個別最適な学習の実践	○基礎学力が身に付いた生徒 ◎生徒の基礎学力が向上したと感じる教員 ○自らの学習する意欲が高まった生徒 ◎生徒の学習意欲が高まったと感じる教員	教務研修課 各教科
	(イ) 知性や表現力の向上につながる授業実践	ICT等を活用した授業、学習指導の充実 卒業・修了演奏会の充実 卒業制作・授業作品展の充実	○ICT等を活用して工夫した授業が行われていると感じた生徒 ○ICT等を活用した授業改善を実施した教員 ○授業力向上に関する研修に参加した教員 ◎1日に平均1時間以上演奏した生徒 ◎4月に比べ美術の能力が向上した生徒	教務研修課 総務情報課 芸術科 各教科
	(ウ) 知性の定着を意識した観点別評価の改善	教科内での研究会や報告会の実施 校内での学習指導や評価に関する情報交換の実施	○観点別評価が実施されたと感じる生徒 ◎3観点を育てる教科指導を実践した教員 ○観点別評価の改善を意識している教員 △観点別評価に関する研修に参加した教員	教務研修課 各教科
ウ	(7) 3年間を通じたキャリア教育の実践	進路に関する面談の充実 面接指導や小論文指導の改善 出前授業、学校見学、インターシップ、説明会等の効果的な実施	○進路指導に満足している生徒 ○進路実現に向けて自ら行動している生徒 ○進学・就職説明会が役に立ったと感じた生徒	進路図書課 各学年
	<u>(イ) 自己実現を目指す探究活動の体系化と実践</u>	探究活動の組織的な体系づくり 総合的な探究の時間の増単の検討	○よりよい生き方について考えた生徒 ◎探究活動の目的を共有した生徒・教員 △探究活動の充実に取り組んだ教員	教務研修課 総務情報課 各学年 各種委員会
エ	(7) 基本的な生活習慣の確立	欠席・遅刻をなくして授業を大切に する指導の実施 時間・期限・身だしなみ・マナーを守る指導の実施 頭髪指導見直しの検討	◎欠席・遅刻をなくすように心がけた生徒 ○始業時間や提出期限を守っている生徒 ○身だしなみやマナーを守っている生徒 ○朝読書の時間に落ち着いて本を読んでいる生徒	教務研修課 生徒保健課 各学年

様式第 1 号

	(イ) 特別活動を通じた主体性の育成	日々の生活や学校行事（体育大会や文化祭など）における生徒の主体性の育成	○学校生活や学校行事に主体的に取り組んでいる生徒 △部活動に積極的に取り組んでいる生徒 ○生徒の自己理解が深まるような働きかけをした教員 ○生徒が自己目標を設定し、目標達成のために行動できるような工夫をした教員	生徒保健課 各学年 各部活動
オ	<u>(7) 学校間連携及び共生・共育の推進</u>	高特連携・中高連携の充実 地域との連携事業への参加	△特別支援学校や中学校とのボランティア活動や共同活動等に関心が高まった生徒 △共生・共育について理解を深めた教員 ○地域との連携を目指した活動を通して貴重な経験をすることができたと感じた生徒	教務研修課 総務情報課 芸術科 各学年 各種委員会
	(イ) 学校の魅力発信	学校HP等の充実 中学生一日体験入学やオープンスクール等の充実 コミュニティスクール実施の検討	○学校HPやインスタグラム等で生徒の様子や学校の情報を発信した教職員 ○本校への興味・関心が高まった中学生	教務研修課 総務情報課 各学年 各部活動
カ	<u>(7) 業務改善にもつなげる教育課程の変更</u>	学校の実態に合った教育課程の立案・決定 部活動の再編計画の検討	△生徒の実態に合わせた案を意識した教員 △受け持ち科目の縮減を意識した教員 △部活動の在り方を考えた教員	教務研修課 生徒保健課 各種委員会
	(イ) ヒト・モノ・カネの適切な管理	超過勤務時間の縮減 部活動ガイドラインの周知徹底 不祥事根絶への取組の確実な実施 光熱水費等の経費節減の推進 文書事務効率化の取組の徹底 教育環境向上のための物品や施設整備（修繕）等への予算充当 目的志向型の校内予算の編成と効果的・計画的な予算執行	◎不要な超過勤務をなくすことを意識した教職員 ◎部活動ガイドラインが守られていると感じる生徒・教員 ◎常に不祥事根絶を意識している教員 ◎不祥事を起こさなかった教員 ○光熱水費等の経費節減を意識して行動した生徒・教職員 ◎文書受付・配付のメール等の確認を出勤日に1回以上確実に行った教職員 ◎学校経営予算を計画的に正しく執行した教職員	全ての部署